

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成25年2月14日 (2013.2.14)

【公開番号】特開2011-8335(P2011-8335A)

【公開日】平成23年1月13日 (2011.1.13)

【年通号数】公開・登録公報2011-002

【出願番号】特願2009-148704(P2009-148704)

【国際特許分類】

G 0 6 F 19/00 (2011.01)

【 F I 】

G 0 6 F 19/00 1 3 0

【手続補正書】

【提出日】平成24年12月25日 (2012.12.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

同一文書の中から、対象の状態を表す複数の状態表現を抽出する状態表現抽出手段と、前記抽出される各状態表現の内容に基づいて、前記対象の変化に関する変化情報を出力する変化情報出力手段と、を含むことを特徴とする情報処理装置。

【請求項 2】

前記変化情報出力手段は、前記複数の状態表現のうち、前記文書内に表れる順序が後の状態表現を、前記対象の変化の内容を示す前記変化情報で置き換えることを特徴とする請求項 1 記載の情報処理装置。

【請求項 3】

前記変化情報出力手段は、前記抽出される各状態表現の内容に基づいて、前記対象の変化の極性を評価し、当該評価の結果を示す情報を前記変化情報として出力することを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の情報処理装置。

【請求項 4】

前記対象の状態表現となりうる複数の候補文字列と、当該各候補文字列により表される状態に対する評価情報と、を含む状態名辞書を記憶する辞書記憶手段をさらに含み、前記変化情報出力手段は、前記状態名辞書を用いて、前記抽出される各状態表現により表される各状態の評価情報を取得し、当該取得した各評価情報の変化に基づいて、前記対象の変化の極性を判定することを特徴とする請求項 3 記載の情報処理装置。

【請求項 5】

前記対象に影響する作用を表す作用表現を抽出する作用表現抽出手段と、前記出力される変化情報と、前記抽出される作用表現と、に基づいて、前記作用による前記対象の変化に関する結果情報を出力する結果情報出力手段と、をさらに含むことを特徴とする請求項 1 から 4 のいずれか一項記載の情報処理装置。

【請求項 6】

文書群の中から、対象の状態を表す複数の状態表現を抽出する状態表現抽出手段と、前記抽出される各状態表現の内容に基づいて、前記対象の変化に関する変化情報を出力する変化情報出力手段と、

を含むことを特徴とする情報処理装置。

【請求項 7】

同一文書の中から、対象の状態を表す複数の状態表現を抽出する状態表現抽出手段、及び前記抽出される各状態表現の内容に基づいて、前記対象の変化に関する変化情報を出力する変化情報出力手段、としてコンピュータを機能させるためのプログラム。

【請求項 8】

文書群の中から、対象の状態を表す複数の状態表現を抽出する状態表現抽出手段、及び前記抽出される各状態表現の内容に基づいて、前記対象の変化に関する変化情報を出力する変化情報出力手段、としてコンピュータを機能させるためのプログラム。